

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	緊急時の協力体制を構築することが必要。その為の日頃からの近隣住民との交流をどのように行うかが課題。	緊急時に協力を依頼できる関係構築。また地域から依頼していただきやすい事業所とする。	地域の催しや防災訓練とに今まで以上に積極的に参加するとともに、近隣住民に参加していただけるような、事業所での催しを行う。またそれらの情報交換を運営推進会議などを通じて行っていく。	12ヶ月
2	45	入浴の頻度が少なく、入浴が行えていないご利用者と、毎日の入浴が行えているご利用者と、ばらつきがある。	毎日の入浴が行えているご利用者については、安全に考慮し継続していただく。現状で週に1~2回程度の入浴しか行えていないご利用者については、入浴の頻度を増やす。	無理強いになら無いように、入浴を頂くまでのプロセスにも十分配慮し、楽しく・心地よい入浴をして頂けるように、アセスメント・コミュニケーションから見直していく。職員の、入浴介助に関わる技術の向上も行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。